

待機児童対策、子育て支援についてのアンケート

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたびは突然のお便りにて失礼いたします。私たち「保育園ふやし隊@杉並」は、待機児童を抱える保護者やその支援者が集まったグループです。保育所に入園できない者や、入園できたけど過酷な「保活」の経験から杉並区の保育事情の改善を願ってやまない者などが集いました。私たちは、「就学前まで子どもを安全・安心に預けて働きたい人が働くことができる社会」を願って活動しています。

この度、杉並区長選挙に立候補される方々に、待機児童対策や子育て支援にどのようなご意見をお持ちなのか、ぜひアンケートをさせていただきたく、ご連絡さしあげました。

2013年度、区が800名を超える入所定員の大幅増を図る「待機児童対策緊急推進プラン」を策定・実行したことや、2014年度も引続き保育施設の拡充を行っていることに、大変感謝しております。しかしながら、2014年度も認可保育所の入園不承諾児童数が1,800人を超えており、育児休業中の保護者の児童ですら入園が厳しく、働きたいと思っても一旦仕事から離れた保護者の児童が入園することは、非常に困難となっています。

また、2015年4月施行予定の「子ども・子育て支援新制度」の方針や条例がどのようなものになるのか、保育施設別に基準が設けられて保育条件に格差が生じる可能性があるのではないかと不安を抱いています。

こうした動きもふまえ、杉並区長の立場として子育て支援に対してどのような具体策をとっていただけるのか、私たちは強い関心をもっております。つきましては、以下の質問にお答えをいただきますようお願い申し上げます。ご回答は、ふやし隊のMLや公式ブログ、Twitterで紹介させていただきます。ご回答は、メールで、以下のアドレスまでお寄せください。お忙しいとは思いますが、何卒、よろしく願いいたします。

【ご回答先】 hoikuenfuyashitai@gmail.com

【質問内容】

下記の質問につきましては、2015年4月施行予定の子ども・子育て支援新制度下という前提で回答頂けるよう、お願いいたします。

1. 現在、認可保育所への入所が育児休業後の保護者の児童ですら入園が厳しく、出産後仕事に就きたい保護者の児童が入園することは非常に困難で、申込みすらしていない人も多くいます。このような就業ニーズにどこまで対応したいとお考えでしょうか。
2. 様々な保育施設がありますが、待機児童対策の中心施策・施設は何を想定してらっしゃいますか。
3. 保育室や保育ママ、スマ保など小規模保育施設に通っている児童の保護者は、3歳児以降の預け先が確約されていないことに不安を抱いています。他市区町村では、幼稚園と連携するなどの動きがみられますが、そのような児童に対する3歳児以降の受入れについて、具体案はありますか。
4. 他市区町村では、民間所有の土地・建物を借り上げたり、大学所有の土地に保育施設を新設したりするなどの動きがみられますが、保育施設増設のための用地確保について具体案はございますか。
5. 新制度への移行をどのように進める予定でしょうか。また、現在、区が独自に設置している保育室やグループ保育室は、どのような対応をお考えですか。新制度の対象として、位置づけられるのでしょうか。
6. 新制度では、保育施設別に保育の実施主体が異なることや、基準が設けられることになり、保育環境や保育条件に違いが生じる可能性があります。このような不安に対して、杉並区として独自の支援をするお考えがございますか。
7. 区政として取り組むべき課題の中で、待機児童対策を含む子育て支援の位置づけを教えてください。お考えになっている支援策などがございますか。